

# 「高知県橋梁会 令和4年度 第2回研修会」報告

高知県橋梁会理事 深川 直利

(公社)土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による令和4年度 第2回研修会が2022年8月19日(金)に高知市本町にある高知会館の「白鳳の間」で開催された。

研修会では①リードライン埋設工法(CFRP ロッド埋設による道路橋床版上面補強工法)、②N-Jet 工法、NEW スリーブ注入工法、③推進型地下水位低下工法による液状化及び地すべり対策、④続・橋梁点検のポイントと定量評価導入の勧めの、4テーマについて講演を行った。

研修会には95名が参加し、非常に有意義な研修会となった。また、研修会の後に予定されていた懇親会は新型コロナウイルス感染対策の観点より中止とした。

## ■研修会 (13:30~17:00)

研修会の開催に先立ち右城会長から開催の挨拶があり、コロナ禍にもかかわらず本年度第2回目の研修会が開催されたこと、本日の各講師の紹介があった。(13:30~13:40)

この工法は、防水処理を施されていない古い小規模なコンクリート橋を対象に、路面の切削が不要で短期間で防水・舗装機能の向上を図るといった特徴を有し、従来の舗装では不可能であった薄層による施工が可能との説明があった。

(13:40~14:10)



右城会長による開会の挨拶



山内 征一郎氏(壇上) による講演

1 番目の講演は三菱ケミカルインフラテック(株)の山内 征一郎氏から「リードライン埋設工法(CFRP ロッド埋設による道路橋床版上面補強工法)」と題し、CFRP ロッド埋設による新しい道路橋床版上面補強の紹介があった。

リードライン埋設工法は従来の炭素繊維シート工法と比較して、工期短縮が可能、煩雑な作業が不要で施工品質が確保できる等の説明があり、これまでの施工事例を交えての紹介があった。

また講演の終盤ではドローガード薄層舗装工法の紹介があった。

2 番目の講演は日特建設(株) 的場 晋太郎氏から「N-Jet 工法、NEW スリーブ注入工法」と題し、地盤改良技術の紹介があった。

NEW スリーブ工法は新型の注入パイプ「ポリゴンパイプ」を採用したことにより、毎分18mmという従来工法より大幅な高速注入を可能としたことで、生産性向上とコスト低減を図ることが可能との紹介があった。

また、N-Jet 工法の説明として円形柱状改良体を造成する高圧噴射攪拌による地盤改良工法で、従来工法より造成時間を短縮することが可能で、

工期の短縮や施工費の削減に寄与するとの説明があり、その施工順序や工法の適用ケースについての紹介があった。

(14:10～14:40)



的場 晋太郎氏による講演

3 番目の講演は国士舘大学理工学部理工学科の橋本教授から「推進型地下水位低下工法による液状化及び地すべり対策」と題し、レジェンドパイプ工法の紹介があった。

工法の特徴としてはスピーディに排水設備を設置し、地すべりおよび液状化対策を効果的に行うことができ、既存の工法を使用した場合との経済比較に対するメリット等の説明があった。

また、講演では近年の大地震による液状化の被害や対策、および大規模盛土崩壊による被害と対策についての説明を、復興前と復興後の写真を交えての紹介があった。

(14:40～15:20)



橋本 隆雄氏による講演

教授から「続・橋梁点検のポイントと定量評価導入の勧め」と題し、橋梁等の損傷事例、点検時の着目点、定量評価の導入等の説明があった。

森教授は前回の第 1 回研修会からの引き続きの講演となった。

橋梁点検にあたっては点検の目的、目標、最大リスク、エンドポイントを明確に認識する、構造設計の視点を失わない、劣化損傷のメカニズムを知る、客観化を意識、要領や指針を過信しない、定量的に評価していくことの説明があった。

また、コンクリート橋の損傷が不可視や可視損傷が進展しなくても固有振動数の低下は損傷の発生・進展を反映していることに注目し、振動測定方法による実験データ等の紹介があった。

(15:30～16:55)



森 伸一郎氏による講演

研修会では参加者が熱心に聴講するとともに、各講演終了後には質疑応答がされた。



熱心に聴講する参加者

4 番目の講演は愛媛大学大学院の森 伸一郎特定



質問する右城会長

森下副会長による閉会の挨拶では、本日の講演内容の総括、講演者や参加者への謝辞、次回研修会の開催予定、講演内容の募集などの報告がされた。

(16:55～17:00)



森下副会長による閉会の挨拶



司会を担当した深川理事

## ■あしがき

研修会はコロナ禍の中、参加者 95 名と多くの参加があり、盛況のうちに終えることができた。しかし、予定されていた懇親会はコロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止となった。

次回研修会の際にはコロナも落ち着き、盛大に懇親会が行えるよう切に願う。

最後に、高知県橋梁会では研修内容を充実し、有意義な研修会になるよう活動を続けていきたいと考えており、今後も会員会社様のご協力をよろしくお願ひしたい。